

地元企業展開催しました

【本年度より3回転!】

毎年行われている1年生対象の地元企業展が中間考査最終日の午後実施されました。地元の優良企業14社をお呼びして、お話をいただきました。昨年度までは2回転でしたが、本年度は3回転とし、3回転目は皆さんの聞きたい企業を選択できるようにしました。どうだったでしょうか??

【求人をお願いしている企業】

14社のうち11社の企業が近年、毎年のように求人をいただいている企業でした。また、3年生のインターンシップ先やビジネスマナー講座の講師、交通量調査などお願いしているなど、本校とは縁の深い企業ばかりです。

【地元企業を知るきっかけに】

就職を希望している皆さんにとっては地元の優良企業を知ることができて、大変有意義な時間ではなかったでしょうか?進学の皆さんは「あんまり関係ない」と考えた人もいたかと思いますが、進学先を卒業するときに、お世話になる企業かもしれませんね。

【企業の方の感想】

- あいさつが元気よく、好感の持てる学校、生徒でした（複数あり）
- 静かに真剣に話を聞いてくれた
- 3回転目の希望制のときは、より一層興味を持って聞いてくれた（複数あり）
- 生徒の皆さんがもっと積極的に発言してくれると、なお良かった

おおむね、企業の方からは受講態度などは好評でした。挨拶は本当に褒めていただきました。時間の制約もありましたが、自分から発信するという姿勢がもう少しあるといいですね。そうすれば、

“期待どおいかから、期待以上”の評価となるのは間違いありません。

【生徒の感想】

- 銀行と信用金庫の違いや今まで知らなかった仕組みを知ることができました
- クイズ形式の説明は楽しくてとても分かりやすかったです
- 企業がどんな人材を求めているのかが、よく分かりました
- 「大きい会社よりいい会社」という企業理念がとても心に響きました
- 身だしなみや挨拶は自分のためではなく、周りの人のためにするものだ学びました



↓真剣に説明を聴く1年生



先生にズームイン!

~in 豊商~



今回は商業科で1年7組の副担任、そしてテニス部顧問の安藤先生をお呼びしました。

安藤：こんにちは。商業科の安藤です。よろしくお願いします。

記者：こちらこそ。安藤先生は本年度から本校へ赴任されたんですよね?

安藤：そうなんです。今年から採用された新任なんです。

記者：初めて先生をやられるんですか?

安藤：去年までは愛知商業高校で講師をしていて、なんとか採用試験に合格して正式採用となったんです。

記者：そうなんです。母校は愛知商業ですか?

安藤：はい。愛知商業の情報処理科を卒業しています。こう見えても野球部だったんですよ。

記者：テニス部ではないんですね。

安藤：はい。でも、テニスも好きですよ。毎日新しい発見がいっぱいです。

記者：そういうものなのですね。高校卒業後はどうされたんですか?



最後まで諦めずにやる
ことが大切と語る安藤先生

安藤：名古屋商科大学へ進みました。そのために高校時代は勉強はもちろん、資格取得にも積極的に取り組んでいましたよ、たぶん…(笑)

記者：なぜ名古屋商科大学に?

安藤：夢だった教師に近づきたかったためです。

記者：やっぱり先生が夢だったんですね。では、それ以外のお仕事は考えませんでした?

安藤：えっ!?教師以外??全く考えたことなかったですね。うーん、うーん…好きな野球に関わる仕事に就いたかもしれませんね。(笑)

記者：教師しかなかったという感じですね。では先生のお仕事のやりがいは何ですか?

安藤：生徒の頑張ってる表情や笑顔を見ると、僕も「よしっ、頑張ろう!」という気持ちになれるところです。ホント、僕が力もらっています。

記者：本校生徒が安藤先生の力になっているんですね。では本校生徒の良さと弱点はありますか?

安藤：(迷わず)素直!これです!本当に素直な子が多いと思います。反面、まだ少し子供っぽいところがあるのかなと思います。でもいいところの方が多い気がします。

記者：素直ですか…僕なんかもう何かにつけて素直になれないですね。反省、反省。あっ、先生は生徒指導部の先生でもあるんですよね?

安藤：そうです。時には皆さんにとって耳の痛い指導もしているかと思いますが、でも、そういった指導も素直に受け止めて改善する素直な気持ちもあって欲しいんです。

記者：なるほど。何事も素直に受け止めることは大切ですね。では、最後に進路に関して生徒へメッセージをお願いします。

安藤：なんか緊張しますね。(笑) えー、僕自身、実は教師になるという夢を叶えるのに数年かかりました。努力したことと諦めずにチャレンジしたことが良かったと思うんです。皆さんもまずは諦めずに努力をして欲しいです。そしてどんな進路を選択するにしても後悔のないようによく考え、よく相談してください。今日はありがとうございました。

記者：こちらこそありがとうございました。



生徒から力ももらっていると仕事に励む安藤先生